

\*平成 25 年度 名医に学ぶセミナー D2 “Learning from Experienced Doctors Seminar, 2013” \*

# 最新の IVR; 骨病変に対する応用

講師: 谷川 昇 教授 (関西医科大学 放射線科学講座)

Lecturer: Prof. Noboru Tanigawa (Department of Radiology, Kansai Medical University)

日時: 平成 25 年 9 月 25 日 (水) 17:30~

Date: September 25<sup>th</sup> (WED), 2013 from 17:30.

場所: 医学教育図書棟 3 階 第 2 講義室

Place: Lecture Room 2, Medical Education & Library Building 3F.

## 抄録 / Abstract

IVR (Interventional Radiology)、すなわち画像ガイド下の低侵襲性治療は約 30 年の歴史を有する。その低侵襲、低コストゆえに適応範囲は拡大され、新しい手技の開発も続いている。従来は血管に対する塞栓術あるいは拡張術が中心であったが、近年では IVR 手技が非血管系にも拡大し、最近では骨病変に対しても応用されるようになってきた。その代表が、有痛性転移性骨腫瘍に対するラジオ波熱凝固療法、椎体骨折に対する経皮的椎体形成術である。今回の講義では骨病変にする IVR について CT ガイド下骨生検、有痛性転移性骨腫瘍に対するラジオ波熱凝固療法、椎体骨折に対する経皮的椎体形成術について自験例をもとに、手技、臨床成績、エビデンス、今後の展望についてお話しさせていただく。

担当: 放射線診断学 山下 康行 教授

Inviter: Prof Yasuyuki Yamashita  
(Department of Diagnostic Radiology)

e-mail: yama@kumamoto-u.ac.jp



医学教務: iyg-igaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp